



**ROCK PAINT**

水性一液型・ツヤあり

# ビニロック®ウレタン

水性一液架橋型ウレタン樹脂塗料

人と環境にやさしく  
建物を強靱にガードする  
新時代の水性塗料

非トルエン・キシレン塗料

(社)日本塗料工業会 室内環境対策  
のVOC自主表示ガイドライン〜「非  
トルエン・キシレン塗料」〜に適合



日本の人口・世帯数が、今後減少してゆくと予測される中、住宅ストック量はすでに満たされている状況にあり、住宅に対する考え方が見直されてきています。とりわけ太陽光や風雨など、様々な状況にさらされ続ける建築物は、長寿命化へ欠かすことができなくなっています。ビニロックウレタンは水性塗料でありながら、溶剤型アクリルウレタン塗料に匹敵する耐久性を持ち、環境配慮に適応した、水性塗料の新時代を築く製品です。

### 特長

#### 耐候性

溶剤型アクリルウレタン塗料に匹敵する耐候性を実現。

#### 水性 ウレタン

#### 低汚染性

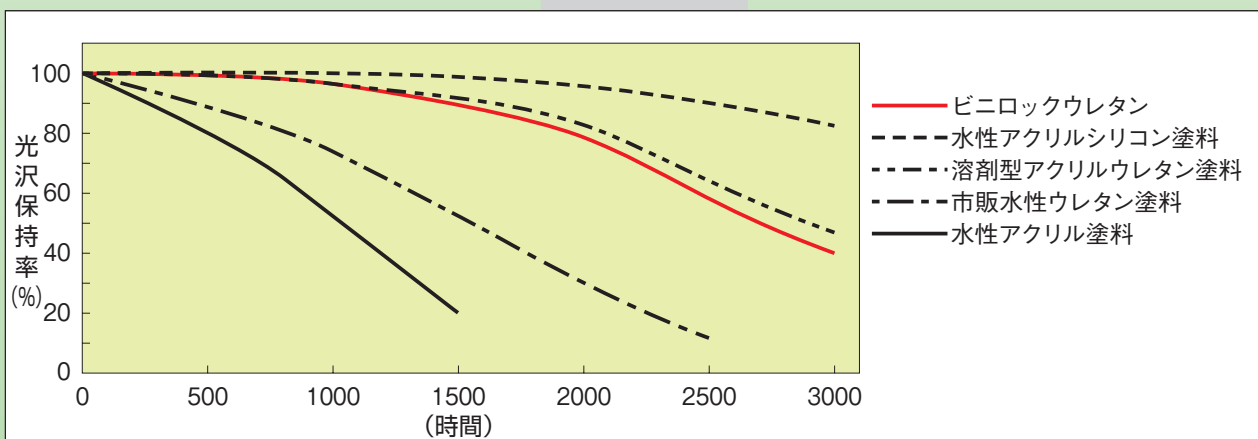
ばい煙や塵などの汚れが付きにくい緻密な塗膜を形成します。

#### 防藻性 防カビ性

藻やカビの発生を防止し、清潔な住環境を維持します。

### 耐候性

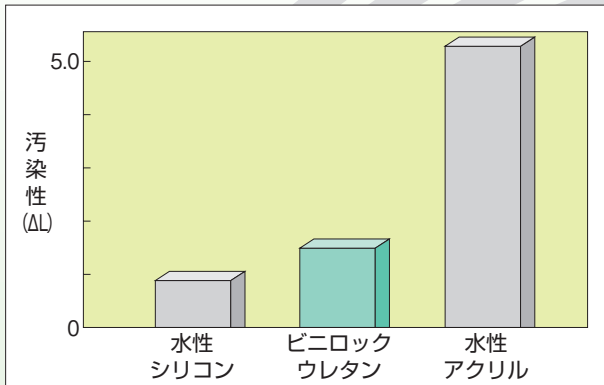
サンシャインウェザーメーターによる促進耐候性





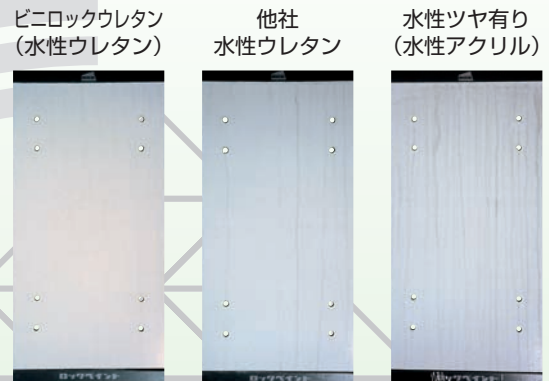
汚 染 性

●カーボン系汚れによる汚染性



※試験前と後の明度変化(ΔL)を測定。明度変化が小さいほど汚れの程度が少ない。

●耐雨筋汚染曝露比較試験



防藻・防カビ性

JIS Z 2911の試験方法を参考とした藻・カビ抵抗試験

①〈藻抵抗試験〉〔藻抵抗試験は蛍光灯を照射〕

	ブランク	1週間後	2週間後	3週間後	4週間後
ビニロックウレタン	-	-	-	-	-
市販水性ツヤ有り	-	±	±	+	+++

(試験菌)クラミドモナス、オーグレナグラシリス、クロレラ

藻抵抗試験結果(4週間後)

ビニロックウレタン      市販水性ツヤ有り



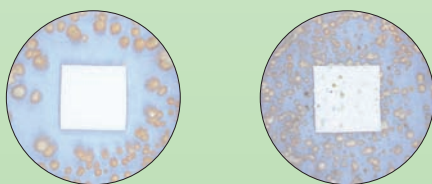
②〈カビ抵抗試験〉

	ブランク	1週間後	2週間後	3週間後	4週間後
ビニロックウレタン	-	-	-	-	-
市販水性ツヤ有り	-	±	±	+	+++

(試験菌)アスペルギルス、ペニシリウム、クラドスポリウム、グリオクラジウム、オーレオバシジウム

カビ抵抗試験結果(4週間後)

ビニロックウレタン      市販水性ツヤ有り



〈判定〉  
 - : 試料面に生育が全く認められない  
 ± : 試料面に生育がごくわずかに認められる  
 + : 試料面の1/3以下に生育が認められる  
 ++ : 試料面の2/3以下に生育が認められる  
 +++ : 試料面の2/3以上に生育が認められる

性 能

項 目	規 格	標準性状
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になること。	合 格
低温安定性(-5℃)	変質しないこと。	合 格
塗 装 作 業 性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障がないこと。	合 格
乾燥時間	(23℃) 2時間以内	合 格
	(5℃) 4時間以内	合 格
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であること。	合 格
隠 ぺ い 率	95%以上	合 格
鏡面光沢度(60度)	70以上	合 格
耐 水 性	23℃水道水に96時間浸したとき光沢保持率80%以上で、塗面に異常がないこと。	合 格
耐アルカリ性	23℃飽和酸化カルシウム溶液に168時間浸したとき光沢保持率65%以上で、塗面に異常がないこと。	合 格
耐 洗 浄 性	1000回の洗浄に耐えること	合 格
耐湿潤冷熱繰返し性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えること。	合 格
付 着 性 (スレート板、硬質塩ビ)	23℃水道水24時間浸漬、取りだし後2時間放置、クロスカット後セロテープ剥離、分類が1以下であること。	合 格
促進耐候性〔耐候形2種〕	照射時間1200時間で、塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級が1以下であること。	合 格
耐 候 性	12か月の試験で白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れ、あながなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないこと。	合 格

## 用途

- 屋外コンクリート、モルタル面や複層仕上げの上塗り
- 屋外鉄部の上塗りとして。(下塗りに適性のあるさび止めが必要です。)
- 硬質塩ビ(雨樋など)

## 使用方法

- 希釈割合(重量比) 水で希釈してください。上塗りの希釈割合は次の通りです。  
ハケ、ローラーの場合：5～10%  
エアレス塗装の場合：10～20%
- 乾燥時間 気温、湿度、膜厚、素地の状態などにより異なりますが、塗り重ね可能時間はおよそ次の通りです。

温度	10℃	20℃	30℃
乾燥時間	3時間	2時間	1時間

- 標準塗付量 0.11～0.13kg/m<sup>2</sup>・回(ハケ、ローラー塗装の場合)

## 使用上の注意

- クリヤー分が浮いている場合がありますので、使用する前に塗料を底から十分にかき混ぜて、均一な状態にしてください。
- 上塗り調色には必ずビニロックウレタン原色または、ロックトーンカララント7000(ベースの7%以内)を使用してください。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は、水性用を使用し、用具や手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。

## 品種と容量

色名	容量	原色 100	原色：白 10：90
グロスホワイト	15kg —	(白)	—
ブラック	15kg 3L		
シンクレッド	— 3L		
ブルー	— 3L		
あかさび	15kg 3L		
オーカー	15kg 3L		
ハイエロー	— 3L		



※色票は印刷ですので実際の色とは多少異なる場合があります。

- 他に店頭調色のロックカララントシステム調色用ベースとして淡彩色調色用のホワイトベース、中彩色調色用のウィークホワイト、および濃彩色調色用のニュートラルベース(各15kg入り)があります。

## 【関連下塗・中塗塗料】

品名	容量
エマルジョンホワイトシーラー	15kg
ロックカチオンシーラーマルチ	15kg
ビニロックエラスティックフィラー	18kg
ビニロックエラスティックフィラーⅢ	16kg

品名	容量
タイルコートE中塗り(丸模様)	20kg
ビニロックプラサフ	20kg
水性サビカット 赤サビ色	14kg
水性サビカット グレー	14kg
水性サビカット 硬化剤	2kg

標準塗装仕様

◆ 新設：コンクリート・モルタル・スレート板など(平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り	エマルジョンホワイトシーラー	水	ハケ、ローラー：75～100% エアレス：100%	1	0.06～0.10	2時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

◆ 新設：コンクリート・モルタル・スレートなど(複層塗材E仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り	エマルジョンホワイトシーラー	水	ハケ、ローラー：75～100% エアレス：100%	1	0.06～0.10	2時間以上
中塗り*	タイルコートE 中塗り	水	タイルガン：1～3%	1	1.5～2.0	16時間以上
(ローラー押さえ)	ローラー押さえする場合、模様吹き後30分以内に、テフロンローラーなどに塗料用シンナーをつけながら軽く押さえる。					
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

\*中塗り(模様吹き)は、施行時の温度、希釈率、吹付圧、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りをを行い、条件を設定してから塗装してください。

◆ 新設：鉄部[オール水性仕上げ](平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準膜厚 μm・回	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
素地調整	足場及び飛散防止シート(必要に応じ防音シート)を仮設し電動工具を主体として手工具を併用し、サビを完全に除去してください。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、またはSIS St3。じんあい、水分、油脂分は完全に除去し、塗装しない箇所のマスキングをしてください。						
下塗り	水性サビカット* 配合比 主剤：硬化剤=7：1	水	ハケ、ローラー：0～5% エアレス：5～10%	1	40	0.12～0.15	8時間以上 7日以内
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	2	30	0.11～0.13	2時間以上

\*水性サビカットは赤サビ色、グレーの2色あります。

◆ 新設：ALC\*など多孔質素地(平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り	ビニロックブラサフ	水	ハケ、ローラー：5～15%	1～2	0.8～1.5	4時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

\*ALC素地が粗い場合には、塗付量を1.0～1.5(kg/m<sup>2</sup>・回)にして吸い込みを止めてください。

●取り合い部に使用されるシーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類により、汚れ、付着不良が発生する場合がありますので、シーリング部にシーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。また、プライマーで処理してもシーリングの種類によっては、汚れ、付着不良が発生する場合があります。

注)仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

## 標準塗装仕様

### ◆ 塗り替え：外装材の塗り替え(コンクリート系下地)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り*	ロックカチオンシーラーマルチ	(水)	ハケ、ローラー：0% エアレス：0% (通常不要)	1	0.09～0.13	3時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

※塗り替えの場合、下塗りにシーラー、フィラー兼用可とう型改修塗材E「ビニロックエラストックフィラー」を使用することもできます。  
 ※ロックカチオンシーラーマルチはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。

### ◆ 塗り替え：吹き付け模様仕上げ(コンクリート系下地)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り*	ビニロックエラストックフィラー	水	ローラー：2～5% エアレス：5～10% リシンガン：5～10% タイルガン：5～10%	1	0.5～1.5	4時間以上
中塗り	タイルコートE 中塗り	水	タイルガン：1～3%	1	1.5～2.0	16時間以上
(ローラー押さえ)	ローラー押さえする場合、模様吹き後30分以内に、テフロンローラーなどに塗料用シンナーをつけながら軽く押さえる。					
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	2	0.11～0.13	2時間以上

※下塗りにはビニロックエラストックフィラー以外に、ビニロックエラストックフィラーⅢもあります。  
 ●ビニロックエラストックフィラー、タイルコートE中塗りを吹き付けする場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りをを行い、条件を設定してから塗装してください。

### ◆ 塗り替え：硬質塩ビ(雨どいなど、平滑仕上げ)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
下地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分などはワイヤーブラシ、皮スキなどのケレン具を用いて完全に除去する。チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。塗装する面にサンドペーパーP240～P400で研磨による足付けを行う。					
下塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上
上塗り	ビニロックウレタン 指定色	水	ハケ、ローラー：5～10% エアレス：10～20%	1	0.11～0.13	2時間以上

注)塗り替えの標準塗装仕様における旧塗膜は、活膜であることが前提です。

注)仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。



## 施工上の要点・注意事項

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。(含水率10%以下、pH9.5以下)
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温20℃、湿度65%の場合)
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築シーラーで適切なものを使用して、あらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 防水形複層塗材の上塗り材としては使用できません。
- 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。またフッ素塗料への塗替えには使用できません。
- 改修塗装の場合、素地の種類によっては、塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをおすすめします。
- 高断熱型住居の外壁を塗装する場合、状況により素地の変形、塗膜にふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてきたりすることがあります。状況によってはシーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをすることをおすすめします。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- 押出成形板、GRC板などの新設塗装には、下塗り塗料としてユメロックシーラー（二液型）を使用してください。種類によっては密着不良をおこす場合がありますので、試し塗りをすることをお奨めします。
- ビニロックエラストックフィラーを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りをを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁にしてください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラーの境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分は希釈をやや少なめに塗装してください。
- 作業効率の低下及び塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。乾くと落ちにくくなります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗装回数、塗分量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗分量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗分量より多くなる場合があります。
- ロックカチオンシーラーマルチやユメロックシーラーなどのシーラーを、吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装後、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こしますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がないため、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が溜まる箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合があります。
- 塗色が濃彩色の場合、塗膜を強くこすると色落ちしたり、さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず、塗装回数が増えたりする場合がありますので注意してください。
- 建物の形状や施工部位、周辺の環境などの影響により、低汚染性が十分に発揮できない場合があります。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- 水性サビカット(2液型)は主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し、可使用時間内(7時間[20℃]、4時間[30℃])に使用してください。
- 水性サビカット硬化剤は、アミンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ドアパッキンや緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- その他カタログに記載していない素地(ALCなどの多孔質素材、軽量モルタル仕上げ面など)及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜不良となることがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

## ❗ 安全・衛生及び取扱い上の注意

### 【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入るとは避けてください。

### 【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをし、40℃以下で0℃以上の子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は産業廃棄物として、認可業者に処理を委託してください。

### 【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗らたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



## ロックペイント 株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000  
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX(06)6473-1000  
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX(011)812-9304  
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX(042)700-3112  
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX(052)361-7433  
明石営業所 / 〒674-0094 / 兵庫県明石市二見町西二見駅前3丁目1番地 ☎(078)949-3101 FAX(078)949-3102  
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX(086)294-6966  
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX(092)963-1241  
工場：宇都宮・八潮・富士小山・犬山・伊賀上野・大阪・宝塚・山口・佐賀 サービスセンター：福岡

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
また記載の内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：